

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鶴巻児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 17,229人(前年度比 95.3%) ・令和4年度 18,073人 ・令和3年度 15,986人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 43,730千円 (42,947千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会総会を実施。	

### 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>地域の協力を得ながら子どもと地域が繋がる行事を企画し、地域と共に成長する児童館を運営することができました。また、子どもの社会参画、自己実現を図る事業にも多く取り組み、主体的に参加する姿勢を子どもたちに育むことができました。</p> <p>●児童健全育成事業 4年生から中学生までの子どもボランティアを募り、館の主催行事「こどものまち」の企画運営と3つの自主企画と館行事の補助を行い、地域のリーダー育成を目的に活動しました。また、今年で結成14年目となる子ども劇団「わんにゃんぼう」には、高校生もメンバーに加わり、詩人武田こうじ氏の脚本と演出の下練習を重ね、外部施設での公演を行うことができました。</p> <p>●子育て家庭支援事業 1週間同じテーマで遊ぶ「ポコパーク」を新設し、曜日や対象に縛られない継続した遊びを提供しました。家庭では難しいダイナミックなあそびが好評で、何度も足を運んでいただくことができました。「ほっとサロン」、「らららんぼけっと」は講師を迎え、子育てママがほっとできる時間の提供や、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを通して親子で遊ぶ楽しさを伝えることができました。</p> <p>●地域交流推進事業 「つるまき！トリックオアトリート！」では、保護者や地域の方に引率や交通安全指導にご協力頂きながら仮装をして地域の店舗や施設へ訪問しました。また、地域の民生委員の方々には豚汁を作っていただき、子どもたちがまち探検から戻ってきた後、協力者も含めておいしい豚汁を囲みながら交流を図りました。</p> <p>●放課後健全育成事業 子ども主体で季節を楽しむ行事や子ども同士の交流を目的とした企画運営を行い、仲間と協力して作り上げる体験や、自己実現の楽しさを経験できるようサポートを行いました。また、放課後の時間を子ども達が落ち着いて過ごすことができるよう、職員のスキルを活かし充実した時間になるように工夫することができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、職員の特技を活かして様々な画材や素材を使用した制作活動「つくってあそぼう」が行われ、子どもの創造性を高める取り組みとなっている。また「もぐもぐキッチン」のカレー作りでは、食育活動を通して主体性や社会性を育んでいる。その他にもこどものまち等の自主企画運営を行う「子どもボランティア」や「わんにゃんぼう」が継続的な取り組みとして行われており、小学生と中高生が交流を通して達成感や自己肯定感を得る機会となっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、利用者の意見から1週間同じテーマの遊びを提供している「ポコパーク」において、乳幼児親子の視点で利用しやすい環境作りに努めた事でリピーターや来館者増加に繋がっている。また、地域の方を講師に招いて行われている「ほっとサロン」のヨガ講座や民生委員児童委員主催の「子育てサロン」へ職員が出向き、地域の乳幼児親子と交流する等、地域で子どもを見守り、子育て家庭を支えている。</p> <p>地域交流推進事業においては、令和5年度は、町探索を盛り込んだ内容で楽しみながら地域を知る機会となった「つるまき！トリックオアトリート！」や、地域の方の協力で年2回行われた「ミニ四駆大会」を通して世代間交流が図られ、お迎え等で来館した保護者と利用児童が言葉を交わす等、世代間交流が深まり、地域交流の拠点としての役割を果たしている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、屋外遊びの難しい環境にあるサテライト室では、子ども達がお楽しみ会や室内遊びの提案や企画をして主体的に活動している。また月1回の児童クラブだよりの発行により保護者に育成支援の内容を知らせて、子どもの様子を共有している。その他にも年度末にサテライト見学会を保護者参加で行い、安心して子育てと家庭を両立できるよう支援する等、保護者との信頼構築が図られている。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課